



特定医療法人
新生病院



NPO法人
パウル会・ワンダタイム

新生だより

地域の皆さんに向けて新生病院グループの「いま」を発信しています。

2024年1月27日発行 発行人：特定医療法人新生病院 理事長 大生定義



▲地域包括ケア病棟を支えるスタッフ

地域包括ケア病棟とは、急性期治療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある方、在宅・施設療養中に緊急の入院が必要な方に対し、在宅復帰へ向けて支援し準備をする病棟です。一般病棟では手術や点滴といった病気の治療を目的とするのに対し、地域包括ケア病棟ではその方らしく生活できるように定められた入院期間で食事や着替えといった生活していく上で必要となる日常生活動作（ADL）が向上するような支援を行います。

その方らしい生活をいつまでも
多職種の取組み

地域包括ケア病棟とは

病院と地域をつなぐ架け橋

地域包括ケア病棟



地域包括ケア病棟には、医師、歯科医師、看護師、リハビリセラピスト、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、ソーシャルワーカー、クラーク、清掃助手など多職種のスタッフがいます。亜急性期の医療や急性期病院からの受け入れ時は医師がリーダーとなり、日々のケアを支えるのは看護師やリハビリセラピストです。おいしく食べやすい食事を提供してくれる栄養士と調理スタッフがいないければ入院生活はなりたちませんし、病棟の清潔を保ち、隅々まで気を配ってくれる清掃スタッフは縁の下で力持ちです。医師として、すべてのケアに心を込めつつ、質の高い医療を提供できるように修練を積んでいきたいと思っています。

多様な専門職の
力で形成される
地域包括ケアの質



医師 青木 昭子

退院後もその方らしい生活を維持していくような、様々な専門職が地域での生活を見据えた介入を行うことで、スムーズな在宅復帰に繋がっています。また、介護者の休息を目的にしたレスパイト入院を通して、介護者を含めた患者さんの在宅療養を積極的に支援しています。食事が減ってきた、飲み込みづらい、介護量が増してきたといった変化を感じたら、まずはお気軽にご相談ください。

人生に喜びや
楽しみ、安心が
得られるような
関わりを目指して



入退院支援看護師 古田 知未

“安全に”
“おいしく”
食べられるように



言語聴覚士 山本 真菜

入院される患者さんは、病気やけがで以前と同じ生活が困難になることがあります。患者さんやご家族の話聞き、今後の療養先を一緒に考え、地域の専門職と連携を図り、退院後の生活を安心して迎えられるように準備します。人の人生は千差万別であり、今まで関わってきた方誰一人として同じ経過をたどり同じ考えを持たれていた方はいません。常に私たちの固定概念を押し付けることのないよう支援を心掛け、今後その方の人生に喜びや楽しみ、安心が得られるような関わりを目指していきたいと思っています。

お問い合わせ

026-247-2106

【地域連携室】

健康知得 コラム

管理栄養士監修 美味しく・正しく！
減塩を心掛けましょう

1日の食塩摂取量は、男性7.5g未満、女性6.5g未満とされており、高血圧や腎臓病の食事療法では1日6g未満を推奨しています。（日本人の食事摂取基準2020年版より）

これは、梅干し3個分に相当する量です。

食塩を摂り過ぎると、高血圧や脳卒中、慢性腎臓病、心不全、胃がんなどの病気を招く恐れがあります。調味料に含まれる塩分量などを知り、普段の食事や食品を選ぶ時などから減塩を心掛けましょう。

【栄養課】

かんたん！ 茹で豚の薬味サラダ



塩分
1.4g

減塩POINT!

- 1 香味野菜や香辛料の風味、酢、レモン汁の酸味でアクセントを！
- 2 ポン酢や減塩タイプの調味料を使う！
- 3 調味料は食べる直前にかけると味がはっきりする！

材料（1人前）

- 豚肉(100g) ● 分葱(お好みの量) ● みょうが(お好みの量)
- ブロッコリースプラウト(お好みの量) ● ポン酢(大さじ1)

作り方

- ① 鍋でお湯を沸かし、豚肉を茹でる。
- ② 分葱、みょうが、ブロッコリースプラウトなどお好みの薬味や香味野菜を食べやすい大きさに切る。
- ③ 豚肉の上に②をのせ、ポン酢大さじ1をかける。

常勤医師着任の紹介



歯科口腔外科医師

いとう りゅういち

伊藤 隆一

2023年10月1日 着任

診療時間

【月～金曜日】

午前 8:30～12:30

午後 14:00～17:00



緩和ケア科・在宅診療科医師

さいとう えいいち

齊藤 英一

2024年1月1日 着任

診療時間(緩和ケア科)

【水・木曜日】

午前 9:30～11:30

【火曜日】

午後 14:30～16:30

※2月からの診療時間となります

これまでの経緯

広島大学歯学部を卒業後、地元の飯田市立病院で2年間研修を行わせていただきました。その後、信州大学医学部 歯科口腔外科学教室に入局致しました。

大学病院および長野県内各地の関連病院を転々とする中で、様々な病院・地域で大変貴重な経験をさせていただきました。直近では茅野市の諏訪中央病院に4年間勤務しておりましたが、2023年10月に新生病院 歯科口腔外科に赴任致しました。

専門領域について

歯科口腔外科一般が専門分野となります。診療内容としましては智歯（親知らず）の抜歯や基礎疾患を持った患者さんの抜歯・観血的処置が最も多く、その他口腔内の腫瘍・嚢胞（できもの）の摘出・切除や、口腔顎顔面領域の外傷（歯の破折・脱臼、舌・口唇などの損傷、顎骨骨折）などの治療も行っておりまして、

歯科治療に対する恐怖心が強い方や、やや侵襲の大きな小手術では静脈内鎮静法を併用した治療も行っております。残念ながら現在新生病院では全身麻酔での手術には対応しておりませんので、必要に応じて近隣の病院や大学病院に紹介させていただいております。

医療人として大切にしていること

一人一人の患者さんに安全で丁寧な治療を提供できるよう自分なりに日々心がけております。外来が混み合っていて忙しいときも多々ございますが、今まで培ってきた経験を活かして、限られた時間の中で最善を尽くし、確実な処置が行えるよう今後も努力して参りたいと思います。

地域の皆さんへのメッセージ

口腔（口・歯）は物を食べる、言葉を話す、見た目（表情をつくる）といった、日常生活で欠かすことのできない重要なたらしきをしています。口腔の診療を通して地域の皆様の健康増進や生活の質の向上に少しでも貢献できればと思います。

これまでの経緯

医師になって35年が過ぎようとしています。大学でのトレーニングを終えてからは静岡県で外科、消化器科、緩和ケア、在宅診療に携わって参りました。この10数年は独立型ホスピスや首都圏の急性期病院での専門的緩和ケアに動んできました。疾患や過ごす場所にかかわらず緩和ケアを小布施の地で届けられるように、地域の方々と力を合わせて微力ながら力を尽くしたいと思います。

専門領域について

緩和ケアはまだまだ患者さんやご家族にも医療者にも十分に理解されていないと思います。必要な方に緩和ケアを届けることと緩和ケアの考え方や方法の伝道者でありたいと願っています。苦痛なく過ごすことや望み過ごし方をする事は緩和ケアの基本であると同時に、医療や介護の根本だと思います。もっと言えば、誰もが等しく保障されるべき基本的人権だと思います。緩和ケアはがんを中心に発達してきましたが、苦痛はがん以外の疾患でも加齢でも増していくものです。がんであれ非がん疾患であれ多職種で力を合わせてあらゆる苦痛を和らげたいと願っています。

地域の皆さんへのメッセージ

がんの治療ができなくなって緩和ケア科をご紹介頂くことも多く、失意のうちに或いは和らがない苦痛に疲れ果てて緩和ケア科を受診される方も少なくありません。抗がん治療をしなくても抗がん治療ができなくても健やかに過ごすための治療やケアはありますし、むしろそれからの道程の方が同行してくれる医療者や介護者がいた方が心強く安心して歩める過程だと思います。それは心不全や腎不全、神経難病や認知症の終末期でも同じことが言えます。緩和ケアは希望の科です。苦痛を和らげるのは必要なことですが、それは希望を叶えるための方法ではありません。大切なのは希望を叶えることです、どうぞわたしたちを皆さんのよいガイドとしてお使い下さい。

地域の健康を共に守る

連携医療機関のご紹介

日頃より連携し、地域の健康増進を共に支えるお医者さんをご紹介します

須坂市

下鳥内科クリニック

当院は、循環器を中心に内科一般を診療科目としています。いわゆる「かかりつけ医」として、地域の皆様の健康を第一に考え、丁寧な診療を心がけておりますので、お気軽にご相談ください。

必要な場合在宅医療も行っていますが、いち診療所のみでは十分な対応ができないため、「後方支援病院」として新生病院と連携し、患者さんに満足のいく医療を提供できるよう努めていきます。



院長 下鳥 正博 先生

「主治医」と「かかりつけ医」は違います。それぞれの病気を診るのが「主治医」で、内科の主治医、整形の主治医などかかっている病気の数だけ主治医がいます。

しかし「かかりつけ医」は、健康不安、地域の保健や福祉を総合的に相談でき、必要な時には専門医療機関を紹介したり、在宅医療から看取りを含め、単に病気の診療をするだけでない医師です。

現実的にはなかなか「歌って、踊って」というわけにはいきませんが、そのような「かかりつけ医」を目指して医師側も努力していますので、皆さんも「かかりつけ医」を持つことを考えてみてください。

診療日 (受付時間)	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
15:30～18:00	○	○	休	○	○	休

休診日 水・土曜日午後、日曜・祝日

診療科目 内科・循環器内科

〒382-0047 長野県須坂市幸高町屋278

TEL.026-215-2777

運動をして健康な身体づくりをしませんか？

健康を維持・増進するにはバランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な運動が基本となります。活発に体を動かすことで、様々な病気の予防にもつながります。当院の健康管理センターでは、セラピストが専門的な知識や経験を活かし、『運動』を通して、企業にお勤めの方の健康増進や疾病予防、また地域にお住まいの方に介護・フレイル[※]予防のお手伝いをいたします。

※フレイル… 病気ではないけれど、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態



セラピスト
北澤 岬

心身ともに健康で、安心して働ける
職場づくりをお手伝い

これからも自分らしく
在宅で過ごすためのお手伝い

＜企業の健診担当者の方＞

＜自宅でお住まいの方＞



こんな
お悩み
ご相談ください！



- 腰痛などの職業病の発生を予防したい…
- 生活習慣改善のための取組をしたい…

- 体力が続かず家事がうまくこなせない…
- 外出する頻度が減ってきた…

Point

- 1 生活習慣病に対する運動指導で健康増進！
- 2 個々に適した労働環境を提案し、新たな疾病を予防！

Point

- 1 体力向上・筋力アップで、日常生活の動作をよりスムーズに！
- 2 転倒予防対策運動で、介護・フレイル予防！



【お問い合わせ】TEL.026-247-6000(健康管理センター)

— 特定医療法人 新生病院 —

— 基本理念 —

わたしたちはキリストの愛と精神にもとづき医療を通して全ての人々に仕えます。

1. キリストの教えと行いに学び、「全人医療」を実践します。
2. 全ての人々に、人や人種による差別なく、小布施という「地域」の中から「世界中」の人々に。
3. キリストの精神である「仕える」ことによって「新たな生」が始まります。

— 基本方針 —

1. 命の尊厳 私たちは命の尊厳を大切に医療に取り組みます。
2. 連携 私たちは、小布施町を中心とした「地域」の中で、医療・福祉・保健・介護・行政を担う各機関との連携を通して、命の尊厳と質を患者さんとともに追求できる医療体制の構築に取り組みます。
3. 人財の育成 私たちは、業務の遂行を通して、社会に貢献することを喜びとする人財の育成に努めます。
4. 健全経営体制 私たちは、良質な医療を安定・継続して提供できるよう、健全な経営の構築に努めます。

— 特定非営利活動法人 パウル会 —

— 基本理念 —

「奉仕」「感謝」「信頼」

わたしたちは、ミスパウルを象徴とするカナダミッションの志に習い、奉仕の精神をもって地域福祉に貢献します。

わたしたちは、命の大切さを尊び、愛情と感謝の心を持ち続けます。

わたしたちは、自らの仕事に誇りを持ち、全ての人に誠実で丁寧に向き合い、信頼関係を深めます。